

# INAKEN PRESS

## 稲津けんご通信

編集・発行: 稲津けんご後援会 編集責任者: 稲津 憲護

〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15

☎(042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com



～曲げない 負けない あきらめない～

## 誰も見捨てない地域社会に

## 2015年6月号

### 臨時会招集!! 稲津けんご氏の再挑戦

5月11日(月)より2日間の日程で、平成27年第1回府中市議会臨時会が開催されました。稲津けんご氏にとって、このたびの会は4年ぶりの市議会となりました。臨時会を受けて稲津氏は、この4年間で新たに議論され始めた内容も含め、市政に真摯(しんし)に取り組みたいと話していました。

臨時会では議長や所属する委員会などが決まりました。各委員会は5月25日(月)より始まっています。新たな挑戦へと向かう稲津氏に、ご声援をよろしく願いいたします。

稲津氏は今回の臨時会にて、

- ★ 建設環境常任委員会
- ★ 基地等跡地対策特別委員会

の各委員に任命されました(任期は1年)。稲津氏は安心・安全なまちづくりのために尽力したいと話しています。



### 一人会派「府中リベラル」立ち上げへ

4月の府中市議選では無所属で出馬した稲津けんご氏。府中市議会が始まるにあたり各議員は「会派」に所属しますが、稲津氏は「府中リベラル」という新たな会派を立ち上げて活動することになりました。

「リベラル」とは元々「自由主義」を指します。日本では多くの場合「革新主義」「改革主義」などと考えられ、「保守主義」の対義語と見ることも出来ます。「このままでは良くない」と言う意思表示も含まれるでしょう。

府中市においても道路や市役所建替、介護や医療など「このままでは良くない」と言える問題が山積しています。これらの問題を解決するために、新たな風を送り込みたいと稲津氏は考えています。その際、意見や考え方が一致する場合には他の会派とも積極的に連携を取りたいと稲津氏は話しています。

『市議会だより』などで「リベ」と略されることもございますが、「府中リベラル」をよろしく願いいたします。

# 人車いす コラム 車いすから見た世界 人車いす

## No.1 わずかなようで大きな段差

4月5日(日)、稲津けんご氏はボランティアで参加していた空手大会で左アキレス腱断裂というケガを負いました。

当初は松葉杖を使っていましたが、バランスを崩し、何度も転倒してしまっただけでもあり、車いすを借りることになりました。

車いすにより安定感が得られた一方で、すぐに「道の段差」の厳しさに直面していました。わずか1cm程度の差でさえも険しい表情でした。

「段差」の種類は様々です。歩道と車道の境目として付けられたものもあれば、地震などにより地盤そのものがひずんで出来たもの、交通量が多いことで舗装が取れたり削れたりして出来たものなどございます。

地震をくい止めることは出来ませんが、目についた段差を早急に修繕することは重要であると稲津氏は話しています。

仮に生活上必要な段差だとしても、本当に必要なものなのかを検討し、誰にでも優しい形状に改善していくべき所もあるでしょう。

## 稲津けんご氏、選挙報告会にて立ち姿

5月23日(土)、北山自治会館にて後援会主催の「稲津けんご選挙報告会」が開催されました。会場には地元北山町や西原町の方をはじめ、組合関係者や選挙スタッフなど、多くの方々に足を運んでいただきました。

中岡巨弘(のぶひろ)後援会長や、小山くにひこ都議会議員【写真右】から激励の挨拶を受けた後、稲津けんご氏【写真左】から今回の府中市議選の総括と今後の活動について報告がありました。

稲津氏は殆ど立った状態で、ご来場いただいた方の所まで歩いて声をかける場面も多かったです。現在、稲津氏は着脱しやすい装具をつけ、少しずつ距離を増やしながらか歩くりハビリを行っています。

稲津氏は報告会の中でも「車いすで体験したことを忘れず、議員活動に加えてリハビリにも専念したい」と語っていました。



### 稲津けんご

【プロフィール】

1968年北山町生まれ。  
(現在は西原町在住)

1999年から3期12年にわたり府中市議会議員として活動。その後、父の介護や民間での勤務を経て、2015年の選挙で再選。一時ケガで車いす生活を送るが、その経験も活かして「誰にでも優しい府中のまちづくり」に取り組んでいる。



### スタッフのつぶやき

遂に稲津けんご氏の議員活動が再開されました。6月5日(金)から本会議が始まり、1つずつ公約実現に向け動いています。

さて、本号から『稲津けんご通信』の紙面をリニューアル。コラムや本コーナーも始まりました。1色刷りとなりましたが、読みやすさを重視してお伝えいたします。今後ともよろしくお願ひいたします。(Y.K.)